

## 令和2年度 伝統的工芸優秀継承者表彰 被表彰者一覧

\*年齢・従事年数は令和2年4月1日現在

工芸品名	氏名		年齢	従事年数	住所	勤務先	功績の概要	
越前漆器	はやし 林	ますみつ 益光		76	61	鯖江市	手ぬり はやし	<p>【伝統技能】 木製などの型に、下地漆を使用して布を何層にも貼り合わせた後に型を取り去り腕や井などの漆器を仕上げていく脱活乾漆の技能を持つ。また、竹などの自然素材を自ら加工し、素地づくりから下地、塗りに至るまでの幅広い工程を自身で行う技能を持つ数少ない職人。平成19年2月伝統工芸士認定。</p> <p>【後進育成】 10年以上にわたり、小中高校生へ漆器に関する知識の供与や体験実習を行う伝統的工芸品教育事業に携わり、また、職人工房での漆器製作の実演を行うなど後進育成を続けている。</p>
越前和紙	いわの 岩野	たかこ 孝子		78	58	越前市	岩野市兵衛製紙所	<p>【伝統技能】 重要無形文化財に指定されている越前奉書の製造に長年従事し、人間国宝の岩野市兵衛と協同で製法を守っている。良質な原料選びや手間を惜しまない丁寧な調合作業で、上品でふっくらした紙肌で強度の強い上質な奉書を製造する技能を持つ。</p> <p>【後進育成】 息子へ越前奉書の製法を継承しており、現在産地で活躍中。全国各地から和紙製造を志す技術者などに指導・助言を行い、和紙研究者に協力し後進に製作技術を残すなど、越前和紙の普及・継承に尽力している。</p>
越前焼	そうくら 宗倉	かつゆき 克幸		50	33	越前市	宗山窯	<p>【伝統技能】 巧みなろくろ成形技術を駆使した越前焼の薄造りに精通。単に成形品を削り落として薄造りにするのではなく、ろくろのテクニックで引き延ばすことで薄く軽く丈夫に仕上げる技能を持つ。平成22年2月伝統工芸士認定。</p> <p>【後進育成】 越前焼技能者養成支援委員会の副委員長として、薄造りのろくろ成形技術などを若手研修生に指導するなど後進育成に当たっている。平成28年の全国伝統工芸士大会では大会運営委員長を務め、最前線で伝統的工芸品の普及啓発に尽力した。</p>
若狭塗箸	むらこ 村古	わたる 渉		70	46	小浜市	村一産業 (有)	<p>【伝統技能】 貝殻や卵の殻、松葉などを用いた伝統的な技法をはじめ、消費者の要望に応じて食洗器対応やフィルム転写等を施した多様な箸をつくる技能を持つ。また、産地で初めて和紙を活用した箸をつくるなど新たな取組みに積極的に当たっている。</p> <p>【後進育成】 現在2名の弟子を育成している。平成30年より2年間、若狭塗箸協同組合の理事長を務め、国内外で若狭塗箸の箸研ぎ体験を実施するなど箸づくりの魅力を伝えている。</p>

(計4名)

